

詳細仕様

1. コンピュータの設置・接続・設定

【生徒用端末】

- a. 導入するソフトウェア
 - ・Windows Education 10/11 バージョンは最新のものとする。
 - ・Office2021
 - ・Firefox ESR バージョンは最新とする。
 - ・圧縮/展開ソフトウェア
 - ・SKYMenu のクライアントソフトウェア
- b. 設置・接続についての特記事項
 - ・キーボード/マウスはディスプレイ側の USB ポートに接続する。
 - ・本体とディスプレイは USB Type-C ケーブルおよび同延長ケーブル(本体側)にて接続する。
 - ・Type-C 延長ケーブルと通常ケーブルの接続点は生徒が着脱を容易にできる場所とすること。(GIGA タブレット接続を想定)
 - ・本体は平置きとする。
 - ・電源・LAN のケーブルは既設のものを流用可とする。
- c. 設定について
 - ・生徒は自らのマイクロソフトアカウントにて端末を利用できるようにすること。
※SKY に可能であることは確認済み
 - ※MicrosoftEndpointManager の管理下に置くこと。
 - ・環境復元については従来の一般的な常時保護ではなく、復元ポイントを用いた必要時に特定時点環境への復元が可能とする運用とします。
※作業完了時直後の復元ポイントを全台作成しておくこと。

【教師用端末】

- d. 導入するソフトウェア
 - ・Windows Education 10/11 バージョンは最新のものとする。
 - ・Office2021
 - ・Firefox ESR バージョンは最新とする。
 - ・圧縮/展開ソフトウェア
 - ・SKYMenu の教師用ソフトウェアおよび同サーバソフトウェア
 - ・プロジェクタ/書画カメラに係るユーティリティ(必要に応じ)
- e. 設置・接続についての特記事項
 - ・キーボード/マウスは本体側の USB ポートに接続する。
 - ・ディスプレイはそれぞれ HDMI と USB Type-C にて接続する。
 - ・2nd ディスプレイ側に HDMI 信号分配器を接続し、それぞれにディスプレイとプロジェクタを接続する。
 - ・書画カメラは本体に USB にて接続すること。
 - ・電源・LAN ケーブルは既存のものを流用してよい。
- f. 設定について
 - ・ローカルユーザ/マイクロソフトアカウント何れでも使用できること。
 - ・環境復元は導入しないこと。ただし、復元ポイントを作業完了直後のタイミングで作成すること。

2. 授業支援ソフトウェアについて

【SKYMenu】

- ・授業で使用可能なように設定を完了すること。
- ・サーバ機能等の導入は教師用端末とするが、必要に応じ別途の端末(サーバ)を整備することを妨げない。
- ・生徒の管理については、物理端末単位の管理とする。(端末毎に固定)

3. 既存ネットワーク機器の更新

既存の HP 製 48 ポートスイッチを新しく導入する FortinetFS-148F に置き換えること。

- ・端末番号とポート番号をポート 1 から順に一致させること。教師用は41とし、アップリンクポートは最終のポートとする。

4. 研修会について

研修会はそれぞれの中学校において実機を用いて少なくとも次の内容を含めて行うこと。

- ・電源のオンから授業終了後の電源オフまで一連の操作
- ・SKYMenu の使用方法
- ・プロジェクタ/書画カメラの使用方法